

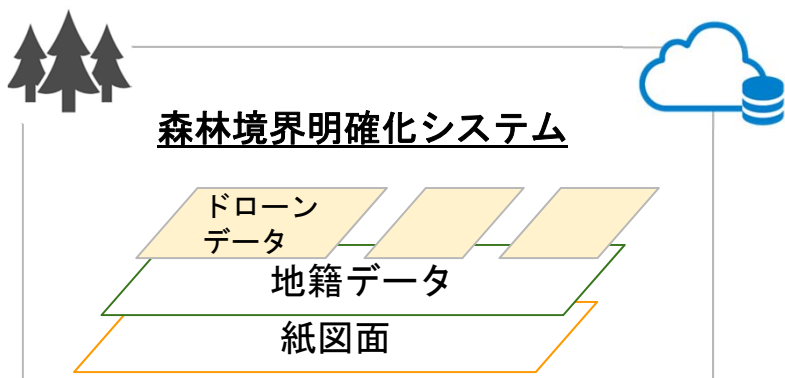
森林境界明確化システム

概要

- 森林整備のため、境界を明確化する必要があるが、森林所有者が不在であったり、所有者が境界を理解していないケースが頻発している。結果、間伐の実施や作業道の開設ができず、放置林化が進んでいる。
- これらの課題を解決するため、地理情報システム(GIS)を活用し、「森林境界明確化システム」を開発。本システムは、境界を明確化するための既存手段である、紙図面(公図)、地籍データ、ドローンによる空撮画像を重ね合わせ、PC上で効率的に境界の確認作業することが可能。
- ネット環境があればどこからでもアクセス可能。またスマートフォンでもアクセスできるので組織内で円滑にコミュニケーションができる他、蓄積したデータをいつでも確認できます。
- 現在実証実験を実施するパートナーを募集中。

導入効果

- 本システムの導入により、従来のように紙図面と地籍データ、ドローンによる空撮画像を別媒体で確認するのではなく、同じシステム上で確認できるようになるため、圧倒的に境界明確化の作業が効率化される。
- その結果、間伐の実施や作業道開設が普及し、森林の公益的機能や経済的機能が活性化されることが期待される。



間伐の実施や作業道開設の促進

森林の公益的機能や経済的機能を活性化

SkymatiX
Remote Sensing as a Service

○対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	林業		その他

○該当するニーズ

項目	林業(1)計画
技術ニーズ	境界管理
具体的なニーズの内容	境界画定時の現地立会について、林内の画像や位置情報を利用した机上の確認で代替する技術

○開発等の段階

開発/実証中	○
モニター販売中	
一般販売中	
その他	

☎連絡先

(株)スカイマティクス
TEL:03-6262-6360
<https://skymatix.co.jp>
info@skymatix.co.jp



お問い合わせフォーム

情報記載日：2019年11月28日